

VALORIZE ROTARY
COM
FÉ E ENTUSIASMO



ロータリーを高めよ 思いを尽くし熱意を尽くし

1990-91年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 パウロV.Cコスタ ●第256地区ガバナー 原 猛
 - 会長——小林九満太 ●副会長——渡辺 宏策 ●幹事——斎藤 弘文
 - SAA——渡辺 喜彦、五十嵐 力 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
 - 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
 - 事務局——三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477
- (FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替わります)
- クラブ会報委員——渋谷 正一、金沢 興宗、木許 紘一、池田 千秋

出席者会員数 会員 76名中 47名

先々週出席率 84.93% (前年同期 89.04%)

今日のお花 バラ

ヴィジター 三条北より 長谷川博一君

加茂より 大橋栄雄君、塚野一二三さん

三条南より 住谷哲雄君

先週のメイクアップ 4/26 吉田へ 岩井数央君、外山一郎君

4/30 三条北へ 加藤紋次郎君、外山一郎君、野村竹三郎君、
渋谷健一君、古沢富雄君、長谷川有美君

会長挨拶 小林(九)会長

今新潟日報で森村誠一さんの小説「虹の刺客」が連載されて居ります。これは「伊達騒動」をとりあつかって居りますが、原田甲斐をどう見るか興味もたれます。

歌舞伎の「先代萩」では伊達本家を乗取ろうとした伊達兵部と組んだ極悪人として居ります。NHKの大河ドラマにもなった山本周五郎さんの名作「樅の木は残った」では兵部に組み乍ら、いかにして兵部を失脚させ伊達家の安泰を計りたいと云う忠臣としての苦悩

が画かれて居ります。

実際原田甲斐と云う男は大槻文彦氏によれば、兵部にとりたてられて奉行になり兵部の云いなりになるごく平凡な小心者だったそうです。大老酒井邸における相手方の伊達安芸との対決では、兵部と共に出席し、幕閣からの質問の答に窮し小心者によくある逆上して安芸に切りつけたと云うのが真相だと云って居られます。

今のところ「虹の刺客」では甲斐は兵部に対決する男と書いて居られますが、森村誠一さんがこれからどう云う展開をされますか、楽しみでございます。

幹事報告 齋藤(弘)幹事

◎例会変更のお知らせ!

- 吉田RC — 5月3日(金) 休会
- 5月10日(金) 早朝例会 AM6:00~ 於 ふれあい広場
- 5月18日(土)~19日(日) 一泊旅行例会
- 加茂RC — 5月9日(木) 職場例会 PM12:30~ 於 新潟食品
- 5月23日(木) 新緑の夕べ PM6:30~ 於 丸山屋

ニコニコボックス ¥8,000

- 小林(九)君 山本福七会員の卓話有難うございました。
- 渡辺(宏)君 4月28日会長エレクト研修セミナーに参加して来ました。責任の重さを痛感して来ました。皆様のご支援をお願いします。
- 齋藤(弘)君 去る4月18日午後一時頃、大変見通しの良いたんぼの中の交叉点において車どうしの事故をおこしました。私の車が廃車となる大きな事故でしたが双方ともかすり傷一つなく、無事を喜んでおります。
- 藤田(説)君 後れ馳せ乍ら選挙が無事終わりました。発表が遅くなりました事を反省しています。
- 野村君 ホームクラブ出席おひさしぶりで御座います。
- 五十嵐(力)君 この度初孫が生まれました。女の子です。

ロータリー財団ボックス ¥2,000

- 池田君 長女が高校に入学しました。

卓話 最近の石油情勢について

山本福七会員



1. 日本の石油産業の規制緩和について
 - 1) ガソリン生産枠の廃止……1989年3月末
 - 2) S.S.建設枠の廃止……1990年3月末
 - 3) 原油処理枠の廃止……1992年12月末(予定)
 2. 湾岸戦争に対する政府/業界の対応
 - 1) 資源エネルギー庁の適確な行政指導
 - a) 国際協調

イラク・クウェートからの輸入減をサウジアラビアなどの他の産油国の増産でカバー。国内での省エネ呼びかけ。
 - b) 製品需要への対応

海外製品価格の急騰に対して、国内の精製量をアップし、製品価格の上昇をおさえた。
 - c) コスト変動ヒアリングの実施

原油価格の変動を反映させた「月決め制」による仕切価格の指導。
→元売りの事後調整制度の撤廃。
 - d) 消費者への情報提供

適格にタイムリーに実施した。
 - 2) 販売業者、消費者の対応

過去の数回にわたるオイルショックのながい経験から、混乱せずに、あらゆる流通过程において整然と対応した。エネルギー庁/元売りのP.R.も貢献したと思う。
1. -1)-C)の価格変動に伴う末端価格への転嫁に関しまして、消費者の皆様にご協力いただきました点、大いに感謝いたします。

昨年の9月以降今月の3月迄原油価格の値上げ、及び値下げにより3回の値上げ、さらに4回の値下げと目まぐるしく変動いたしました。また、4月からは例の湾岸戦争の援助資金の一部が石油税に転嫁されました。

ご協力本当にありがとうございました。
3. 今後の石油情勢
 - 1) オペック(石油輸出国機構)の動き

1991.3.31.オペックの閣僚監視委員会開催。

 - a) 量2230万バレルにする。(100万バレル減量)
 - b) 価格を15~20ドルに維持したい。

これが守られる限り価格が急落することはない。

2) 元売り価格決定方法

5月以降は各元売り独自のコスト計算により決定する。エネルギー庁は介入しない。
(原油価格が一応安定したため)

3) 石油審議会精製設備問題小委員会設置

1983.以降エネルギー庁は、原油を一次精製する常圧蒸留装置(トッパー)の廃棄を進めてきたが、それを転換し、「ある程度の増設を認める方針」に。

湾岸危機で需給がひっ迫したことや、今後も需要が堅調に伸びる見通しであることがその背景。

4) 3年度上期内需見通し(対前年比)

(4-9月)

ガソリン 102.3%

軽油 104.2%

灯油 97.5%

今後も私共は安定供給の確保、及び適正な価格の設定に努力してまいりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

ご静聴ありがとうございました。

5月8日例会 夫人同伴グルメ例会 PM6:30~ 於 宮前旅館(栃尾市)

5月15日例会 休会(三条祭り)

5月22日例会 エアロビックススタジオスクウェアチーフ 堀内弘子さん、笠原明子さん

PolioPlus



「開発途上国の新生児を対称に
ワクチン投与資金協力を」